

第2期備前市地域福祉計画（案）に対する意見募集の公表について

第2期備前市地域福祉計画（案）に対して、市民の皆様からご意見を募集した結果について、要旨と市の考え方は下記のとおりです。

ご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。

意見募集期間 令和4年11月1日（火）～12月1日（木） 意見募集結果2件（1名）

	意見等の要旨	市の考え方
1	P30 子育て支援の充実 P31 地域で子どもを守り育てる活動を支援する 子育てに関する福祉サービスや相談窓口が多方面にあり、せっかくいいサービス支援があるのにわかりにくいと思います。 保健課、こども家庭課の他に学校でのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活動もあり、福祉委員や地区社協というものが機能するようになったら、地域に根差した支援が連携しながら行えるようになるのではないのでしょうか。 「認知症カフェ」や「子どもの居場所」活動をしています。そういった情報プラットフォームとなる拠点と社協がもっと連携して、充実を図っていただきたいと思います。 先日、倉敷で活動する「NPO こうのさと」の活動のことを知りました。妊婦さんが登録して安心安全な野菜を月に1回届ける活動、交流会などで子育ての不安や孤立を防ぐということでした。愛育委員や栄養委員もこれに似た活動をしていると思います。子育て時代から顔の見える関係作りを進めることで地域づくりができていくと思います。是非、充実させていってください。 福祉委員研修会や愛育委員・栄養委員の研修会に「NPO こうのさと」の講演をお願いすると思います。	相談窓口や福祉サービスがわかりにくい点については、情報提供についての目標として盛り込み、取り組んでまいります。 行政や学校、地域との連携につきましても、包括的な取り組みとして推進してまいります。 NPO の情報につきましても、ご意見として参考にさせていただきます。
2	P34 生活困窮や社会的孤立の克服に向けた支援の充実 備前市は「ひきこもり」対策の窓口がはっきりしていませんが、この活動の内容を充実させていただきたいと思います。 ある方が、「ひきこもりの人に対する支援をしたい」という申し出があり、県民局東備支所の保健師さんと協力して「つながり交流会」という会を定期的に持つようになりました。新宿社協の取り組みを聞かせていただく交流会を持ち、包括的支援が備前市でも推進されるよう協力していきたいと思っています。「ひきこもり」対応としては、KHJ 岡山きびの会の出張相談会としても位置付けてもらっていて、20年にわたる活動や全国組織との連携も持ちながら活動しています。「ひきこもり」対策の居場所活動の必要性について国からも示されていたりします。ピアサポーターの活用も含め、連携を検討していただけたらと思います。	本計画は「誰もが健やかに住み慣れた場所で暮らし続けられる地域づくり」を基本目標としています。ひきこもり対策につきましても、包括的支援が推進されるよう、今後施策を展開していく中で留意して進めてまいります。